

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 勸修地域包括支援センター

1 施設の管理運営

開所時間 8：40～17：40 開所日 月～金 土日夜間年末年始は携帯電話による対応 担当学区：勸修学区、山階南学区、百々学区
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

①総合相談・支援事業 ②権利擁護事業 ③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 ④介護予防ケアマネジメント事業 ⑤一人暮らし高齢者全戸訪問事業・すこやか学級、地域ケア会議、などに可能な限り出席し介護予防・認知症啓発、地域連携などをおこなった。町内会の回覧板と一緒に勸修包括の広報誌「ぼかぼか」を年2回、回してもらっている。・個別地域ケア会議開催 ・地域支えあい活動創出コーディネーターと連携して移動販売の周知をおこなった。 ・ほぼ全て全戸訪問対象者にアプローチし、必要な人にはサービス等につなげた。 ・ケアマネジャー支援として同行訪問等をおこなった。 ・地域役員やケアマネジャー等からの連絡があった虐待ケースの対応をおこなった。 ・集団検診等で介護予防啓発をおこなった。 ・運営推進会議に文書等で参加した。・在宅医療・介護連携支援センターと連携した。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

主任介護支援専門員1人、看護師2人、社会福祉士4人（センター長と兼務）、介護支援専門員2人 合計9人 他に事務員が兼務で1名。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・市内中小企業に優先して発注するよう努めた。 ・特殊設備等の保守管理以外は市内中小企業を活用した。
--

5 施設の利用状況（施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

5811 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

4140 件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況（単位：円）

委託料	34,953,356
介護保険収入	29,030,192
その他	233,782
収入計	64,217,330

イ 令和4年度支出状況（単位：円）

人件費	51,770,136
事業費	5,124,118
委託費	4,072,197
小額修繕費	34,650
その他	3,000,000
支出計	64,001,101

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

京都市勧修地域包括支援センター指定介護予防支援事業所の職員の対応についてアンケートをおこなった。方法：ご利用者にアンケートが記入された返信ハガキを手渡した。
回収率：61%（配布数：247 回収：151）
アンケート実施期間：令和4年11月1日～令和5年1月31日

(2) 利用者満足度把握の結果

満足 120人
やや満足 12人
普通 18人
やや不満足 1人
不満足 0人

(3) 意見等への主な対応状況

職員間で共有した。ホームページに掲載した。苦情については苦情窓口を設置している。また職員間で共有し、再発防止策を決めている。

7 評価（指定管理者自己評価）

高齢者数が多く業務は多いが、介護予防マネジメント、地域支援事業、全戸訪問など各事業にバランスを維持しながら取り組んでいる。コロナ禍でも職員間でコミュニケーションがとれるようリモートを活用した。地域役員、サービス事業所、医師等参加していただいて日常生活圏域地域ケア会議を対面で1回開催した。学区地域ケア会議も感染状況をみながら可能な範囲で対面でおこなった。個別地域ケア会議から圏域地域ケア会議へ課題を抽出していくことが課題。全戸訪問対象者の情報共有を地域の役員さんとおこなった。地域の催しは少なかった。会議はほとんどリモートであった。小学生対象の認知症サポーター養成講座は小学校へ提案したが、希望されなかった。予防給付等は確実に増えている。今後はさらにITを取り入れ合理的にまた経費節減に取り組む必要がある。事業所内事例検討会では利用者に寄り添う視点の重要性を確認し、障害を理由とする差別の解消により理解を深めた。